

《担当者名》 幸村 近 吉田 繁 田中真樹 松尾淳司 丸川活司 近藤 啓 高橋祐司 小林道也(薬) 富家直明(心)
小島 悟(リハ) 福井純子(看)

【概要】

医学、医療に携わる幅広い職種のプロフェッショナルが共有すべき知識を包括的に学ぶことを目標とする。医療のシステムとして、医療サービス提供体制、医療保険制度について理解する。また患者を中心として多職種が連携するチーム医療の在り方や、様々な分野での健康増進事業について、本学が有する各学部の役割を含めて学習する。さらに医学医療の辿ってきた歴史を踏まえ、現代社会における医療倫理や先端医療技術への発達、さらに未来に向けての課題や展望を考察する。

【学修目標】

- 1) 生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけるために、現代社会における医療倫理、先端医療技術について学ぶ。
- 2) 保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療を実践するための専門性と協調性を身につけるために、各医療関係職種の業務の内容と多職種連携の実際を知る。
- 3) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題の発見と、解決に向けた科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけるために、医学、医療全体の歴史を知り、あわせて将来的展望を考察する。
- 4) 日本の医療制度、医療の現状について説明できる。
- 5) 医療における臨床検査の役割について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	医学、医療とは？	・医学・医療の定義、発展の歴史 ・我が国の医療の現状 ・さまざまな医療関係職種とチーム医療の概要 キーワード：医学医療史、日本の医療、チーム医療、多職種連携 教科書：第1章-1・2	幸村 近
2	日本の医療制度	・保健医療サービスの提供体制 ・医療保険制度や医療政策の現状 ・医療と経済 ・在宅ケア、高齢者ケア 教科書：第1章-1～7	幸村 近
3	患者中心の医療と医療倫理	・患者中心の医療を実践するために必要な方策 ・医療従事者に必要な倫理の基本を理解する 教科書：第4章-1～5	幸村 近
4	感染症	・近代医学・医療の発展の歴史と感染症の関わりについて学ぶ 教科書：第3章-1	松尾淳司
5	悪性腫瘍	・がんの診断と疫学 ・ワクチンなどのがんの予防法 教科書：第5章	丸川活司
6	歯学分野	・現代医療における歯学の役割 教科書：第1章-6	田中真樹
7	看護福祉学分野	1) 看護学と看護職の役割： 医療関係職としての連携の観点から看護学と看護職の役割について理解する 2) 医療安全と医療従事者の責務： 対象者に安全な医療を提供するための考え方と医療従事者として果たすべき責務について理解する教科書： 第1章-10、第12章	福井純子
8	リハビリテーション科学分野	・リハビリテーションとは何か ・リハビリテーションに携わるさまざまな専門職種の役割 教科書：第2章-5・6、第12章	小島 悟

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
9	心理科学分野	・思春期の精神疾患とレジリエンス 教科書：第2章-4	冨家直明
10	薬学分野	・医学における薬学と薬剤師 ・薬剤師業務と臨床検査 教科書：第12章	小林道也
11	ゲノム医学	・今後発展が期待される分野の一つとしてゲノム医学の現状と展望を理解する 教科書：第2章-2、第3章-6	吉田 繁
12	医療情報	・医療と情報技術 ・個人情報の取り扱い	高橋祐司
13	ヘルスプロモーション・予防医学 救急医療・災害医療	・健康の定義を知り、それを支援する方法や疾病予防の対策について学ぶ 教科書：第2章-1・2 ・救急医療・災害医療の現状について学ぶ 教科書：第1章-8・9	幸村 近
14	医療における臨床検査 1	・医学・医療における臨床検査の役割について考える（グループワーク） 教科書：第4章-2	幸村 近、近藤 啓
15	医療における臨床検査 2	・医学・医療における臨床検査の役割について考える（グループワーク） 教科書：第4章-2	幸村 近、近藤 啓

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題レポート 80% 小テスト 20%

- ・授業の内容と感想コメントをレポートにまとめて提出する。または小テストに回答する。
- ・グループワークで作成したプロダクトを提出する。
- ・最終回終了後に提示された課題についてレポートを作成し提出する。

【教科書】

柳澤 信夫 著 「現代医学概論 第3版」医歯薬出版 2023年
指定の教科書に加え、必要に応じて学習プリントを配布する。

【参考書】

小橋 元 他 編集 「学生のための医療概論 第4版」 医学書院 2020年
北村 諭 著 「医学概論（コメディカルのための専門基礎分野テキスト）改訂7版」 中外医学社 2020年
小幡 豊 著 「医学・医療概説 医学部進学のための特別講座（河合塾シリーズ）改訂版」河合出版 2015年
中島 泉 著 「医学概論 医学のコンセプトと医療のエッセンス」 南江堂 2015年

【備考】

講義の開講順は、変更する場合がある。変更内容や講義日程は、ガイダンス時または掲示等にて発表する。
一部クリッカーを使用した双方向対話型教育を行う。
一部Google Formを利用して学習課題を提示する。
アクティブ・ラーニングとして第14～15回にはパソコンを利用したグループワークを行う。

【学修の準備】

予習：教科書の関連する部分をあらかじめ読んでおくこと。または、記載されたキーワードについて調べておくこと。（40分）
復習（評価方法にも記載）：授業の内容と感想コメントをレポートにまとめる。または小テストに回答する（120分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP1）生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。
（DP3）保健・医療・福祉の各分野の役割を理解し、チーム医療の一員としての自覚とそれを実践するための専門性と協調性を身につけている。
（DP6）臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。

【実務経験】

幸村 近（医師）、吉田 繁（臨床検査技師）、田中真樹（歯科医師）、松尾淳司（臨床検査技師）、丸川活司（臨床検査技師）、近藤 啓（臨床検査技師）、高橋祐司（臨床検査技師）、小林道也（薬剤師）、富家直明（公認心理師）、小島 悟（理学療法士）、福井純子（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、医学・医療における各専門領域の重要性や具体的な実践について講義する。